

# インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）タカサキケイザイダイガク	フリガナ）チキセイサクガクブ	フリガナ）チキヅクリガクカ
高崎経済大学	地域政策学部	地域づくり学科

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）モリゼミビーチーム	フリガナ）オオキタ フミナリ	4	無
森ゼミ B チーム	大北 文成		

## 研究テーマ（発表タイトル）

自転車強制保険制度の提案 ～ エコツーリングの時代を安心して生きるために

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

エコロジーかつエコノミーな乗り物である自転車の需要が高まる昨今、普及に伴い増える交通事故は個人にとっても社会にとっても無視できない重大なリスクといえる。本研究は、社会ぐるみでそのリスクに対処する方法として自動車損害賠償責任保険制度をヒントに自転車強制保険制度を提案し、その性質を研究することを以って経済的・社会的観点からより良い自転車制度の在り方を探求するものである。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

地球温暖化に伴う環境問題への配慮から、経費削減に貢献する低コストな交通手段としての利点から、あるいは通勤通学と同時に運動の機会を求める志向から、企業でも個人でも自転車の需要はより一層高まる傾向にあり、国内の自転車存在台数は年々増える傾向にある。それに伴い交通事故中に占める自転車事故の割合も増加の一途を辿っており、中には 2013 年の神戸地裁判決のように高額な損害賠償命令を伴うケースも目立つようになってきた。

このようなケースを想定して一部の損害保険会社は自転車保険商品を展開しており、大阪府・兵庫県・滋賀県など自治体によってはそれらへの加入を義務付けているところもある。

### 3. 研究テーマの課題

現在我が国では自転車保険への加入は法定義務となっておらず、何らの保険や共済等にも加入せず自転車で公道を走行する者は珍しくない。我がチームで大学生 185 人を対象にアンケート調査を実施したところ、生協等の紹介する学生損害保険という強力な販路があるにも関わらず、自転車事故の損害を補償できる全ての保険・共済類の加入率合計は全体のわずか半数程度に留まる結果となった。（※選択肢「正確に把握していないが、何かしら加入していると思う」の 29.7%を含む）

何らの保険・共済にも加入していないと答えた学生にその理由を問うたところ、最も多かった回答は「自転車保険の存在を知らなかった」であり、これは全体の 23.4%を占める。

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上述の問題を解決するため、我々は自治体のスケールに留まらない全国規模の自転車強制保険制度を提案する。

この制度は全国規模であることによって地域間のばらつきを克服し、強制であることによって高い認知度と加入率を確保することを狙っており、そして普及したこの保険が、災難に遭った被害者と責任を負った加害者の両方を事故の損害から救い出し、ひいては経済的安全のもとエコロジーとエコミーを追求できる社会づくりに貢献するものとする。

プレゼンテーションの中で我々は全国規模の制度づくりのため採りうる手法を3案挙げているが、その内特に中心に考えているのは自動車損害賠償責任保険制度から着想を得た国家主導の民営統一保険案である。民間保険会社が持つ多くの窓口と豊かなノウハウ、そして現在実際に自動車の自賠責制度が上手く続いていることに見られる確実性は、この国の自転車運用環境をより良くしてくれるものと確信している。

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

より正確な自転車利用の実態を掴むため、ゼミ教員森周子准教授の協力のもと、現段階で2大学185人の学生を対象に独自のアンケート調査を実施。これを分析し、制度の企画立案のための数値ソースとした。

さらにインターネット上の文献などを参照し、自転車の普及・事故・保険などに関する情報を収集して企画立案の礎として自転車強制保険制度案を検討。社会の実情に添う制度設計を考え、実現したら作用するであろうメリット・デメリット・その他特徴を勘案し、それを基に、案にさらなる修正を加えてきた。

#### 6. 結果や今後の取り組み

自転車強制保険制度の企画立案、及びその為の調査研究を通じ、我が国における自転車利用の実情と問題の解明、並びにその改善策の探求に若干なり寄与できたものと自負している。

今回我々が提案した案はあくまで大まかな枠組みであり、現時点ではそのまま使える細則の整った案であるとはいえない。ゆえに我々は今後、より良き制度内容の模索に日進月歩で邁進し、かつ制度が実現すると新たに生ずるであろう二次的問題の予測と解決に奮励努力することを課題としたい。

#### 7. 参考文献

(公表者五十音順)

- Lify.jp (発表年記載なし)「収支相当の原則」  
<<http://hokenyougo.lify.jp/word/収支相当の原則>> 2016年9月27日参照
- odomon (2009)「自転車保有台数」  
<<http://todo-ran.com/t/kiji/11525>> 2016年9月23日参照
- 警察庁 (2016)「平成27年における交通事故の発生状況」  
<<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001150496>>  
2016年9月27日参照
- シンク出版 (2012)「交通事故の事例ファイル16 (自転車の重過失)」  
<<http://www.sonpo.or.jp/protection/jitensya/>> 2016年9月27日参照

- 自転車の安全利用促進委員会（発表年記載なし）「自転車対歩行者事故の増加」  
 <<http://jitensha-anzen.com/problem/problem03.html>> 2016年9月23日参照
- 総務省統計局（2016）「人口推計 -平成28年9月報-」  
 <<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/201609.pdf>> 2016年9月27日参照
- 高崎市（2014）「高チャリを支える若いチカラ」  
 <<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014012100571/files/2621-4.pdf>>  
 2016年9月23日参照
- 日本経済新聞電子版（2015）  
 「自転車保険、契約数2.4倍ペース 主要4社15年度」  
 <[http://www.nikkei.com/article/DGXLASGC28H1L\\_Z21C15A0NN7000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASGC28H1L_Z21C15A0NN7000/)>  
 2016年9月27日参照
- 日本損害保険協会（2013）「自転車事故と保険」  
 <<http://www.sonpo.or.jp/protection/jitensya/>> 2016年9月23日参照
- 三井住友海上（発表年記載なし）「セブンイレブンで入る保険」  
 <<http://jitensya.ehokenstore.com>> 2016年9月23日参照
- ヤマトホールディングス（2016）「CSRの取り組み」  
 <<http://www.yamato-hd.co.jp/csr/index.html>> 2016年9月23日参照

## インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。